

仕様変更のご案内

本機の仕様変更により、取扱説明書の下記ページの内容が変更となります。
お詫びするとともに、訂正させていただきます。

スタンバイモードが追加されました

(取扱説明書 13、20 ページ)




- MIC MUTE キーを長押しして本機の電源を切った状態が、「スタンバイモード」という名称になりました。
- スタンバイモード時は、本機の画面に「スタンバイ」と表示されます。

連結接続機能が強化されました

(取扱説明書 16、28 ページ)

連結接続機能が強化され、プロジェクトフォンを 4 台まで連結接続できるようになりました。この仕様変更に伴い、「外部入出力」設定の内容が変わりました。

外部機器を接続する場合や連結接続する場合に設定を変更する (外部入出力)

- なし：外部入出力を無効にします。
- オーディオ (初期設定値)：本機に外部オーディオ機器を接続する場合、この設定を選びます。表示画面には、 と表示されます。
- 連結 (親)：連結接続する際に、親機 (パソコンと USB 接続されている側) の PJP-100UH では、この設定を選びます。表示画面には、 と表示されます。
- 連結 (子)：連結接続する際に、子機 (USB でパソコンと直接接続されていない側) の PJP-100UH では、この設定を選びます。表示画面には、 と表示されます。

本体キーによる設定

「メニュー」→「サウンド設定」→「外部入出力」を選ぶ。


- 連結接続する際は、プロジェクトフォンをそれぞれ 2メートル以上離して設置してください。
- 連結接続する際は、ルームサイズを「小」に設定してください。
- 3 台のプロジェクトフォン (親機、子機 1、子機 2) を連結接続する場合は、親機の AUDIO OUT 端子を子機 1 の AUDIO IN 端子、子機 1 の AUDIO OUT 端子を子機 2 の AUDIO IN 端子、子機 2 の AUDIO OUT 端子を親機の AUDIO IN 端子に接続し、親機の外部入出力を「連結 (親)」、子機の外部入出力を「連結 (子)」に設定します。

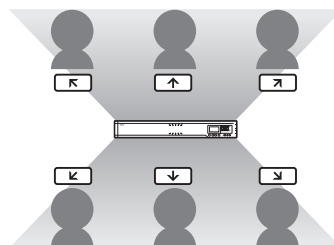
「マイクモード」のゾーン機能が強化されました (取扱説明書 30 ページ)


「マイクモード」のゾーン機能が強化され、收音範囲が広がりました。この仕様変更に伴い、「マイクモード」設定の内容が変わりました。

收音エリアを選ぶ (マイクモード)




通話中のマイクによる收音エリアを指定します。

- ゾーン (近) (初期設定値)：発話者の音声だけを追尾せずに、音声を広範囲に收音します。比較的静かな環境下での利用に適しています。「マイクモード」設定画面でエリア指定キーを押して、收音を有効にするエリアを指定してから  キーを押します。押したキーに合わせて、下図の範囲が有効/無効になります。



收音が有効な方向すべてのマイクインジケータ (青色 LED) が点灯状態となり、表示画面には  と表示されません。

💡 ヒント

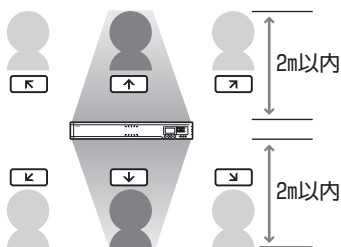
-  キーを押すと、すべてのエリアの收音が有効になります。
- 片側の任意のエリアのみを、收音エリアとして指定することはできません。
- 複数のエリアを同時に指定することもできます。ただしこの場合、指定できるのは全エリアまたは向かい合ったエリア ( と ) のセットのみです。

- **ゾーン (遠)** : 発話者の音声だけを追尾せずに、ゾーン (近) より 2m 以上離れた音声を広範囲に收音します。比較的静かな環境下での利用に適しています。

ご注意

「ゾーン (遠)」ではエリアの指定は設定できません。

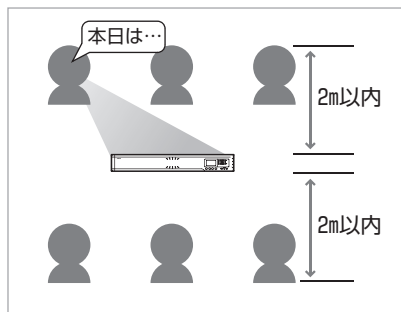
- **スポット** : マイクの收音エリアを狭い指向性で正面中央に固定します。発話者が 12 人で固定されている場合や、周囲にプロジェクタなどの騒音源が存在する環境に適しています。「マイクモード」設定画面でエリア指定キーを押して、收音を有効にするエリアを指定してから **⏏** キーを押します。押したキーに合わせて、下図の範囲が有効/無効になります。



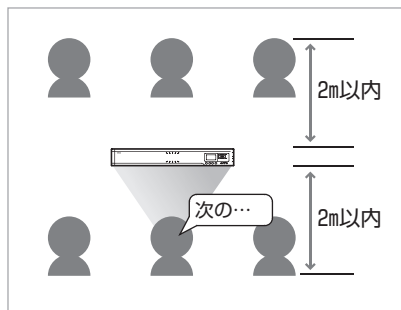
收音が有効な方向すべてのマイクインジケータ (青色 LED) が点灯状態となり、表示画面には **🔊** と表示されます。

ヒント

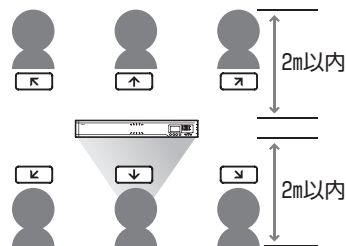
- 片側の任意のエリアのみを、收音エリアとして指定することはできません。
- 複数のエリアを同時に指定することもできます。ただしこの場合、指定できるのは向かい合ったエリア (**⏏** と **⏏**、**⏏** と **⏏**、**⏏** と **⏏**) のセットのみです。
- **追尾** : 收音エリアを固定せずに、発話者の音声をマイクシステムがフォーカスして自動追尾します (同時に收音できる発話者は 1 人のみです)。非常に狭い指向性で收音できるため、発話者の音声以外の周囲雑音を大幅に低減することができます。雑音や騒音が比較的多い環境で、音声をよりクリアに收音したい場合に適しています。



▼ 発話者の方向を自動追尾



「マイクモード」設定画面でエリア指定キーを押して、追尾を有効にするエリアを指定してから **⏏** キーを押します。押したキーに合わせて、下図の範囲が有効/無効になります。



收音が有効な方向 (現在の発話者の方向) のマイクインジケータ (青色 LED) のみが点灯し、表示画面には **🔊** と表示されます。

ヒント

- **⏏** キーを押すと、すべてのエリアの追尾が有効になります。
- 複数のエリアを同時に指定することもできます。
- 特定方向のみを收音しないように設定することもできます。
- 本機をカメラ対応の会議システムと組み合わせて使用する場合に、本機からカメラをコントロールすることもできます。対応カメラや設定方法について詳しくは、「カメラをコントロールする」(別紙) をご覧ください。

本体キーによる設定

初期設定から「メニュー」→「サウンド設定」→「マイクモード」を選ぶ。




ヒント

初期画面または通話中画面で **⏏** キーを押し続けて、「マイクモード」設定画面を表示することもできます。

「ルームサイズ」設定の内容が変わります (取扱説明書 33 ページ)

部屋の大きさに合わせる (ルームサイズ)

部屋の大きさや使用環境にあわせて、ルームサイズを設定できます。通常の使用環境では、「大」(初期設定値)のままお使いください。

- ・ **大** (初期設定値)：一般的な会議室やオープンスペース、オフィスで使用する場合に選びます。通話品質は一番安定します。表示画面には、と表示されます。
- ・ **中**：初期設定値では通話先でエコーが発生する場合に選びます。自機を反響しやすい部屋で使用する場合になどに選んでください。表示画面には、と表示されます。
- ・ **小**：「中」設定でも通話先でエコーが発生する場合に選びます。表示画面には、と表示されます。

ご注意

- ・ ルームサイズは通話先でエコーが発生する場合に、通話先のエコーを軽減するための機能です。自機でエコーが発生した場合に自機のルームサイズを変更しても、効果はありません。
- ・ 「中」、「小」に変更することにエコー処理能力は上がりますが、通話品質は低下します。エコーが発生する場合にのみ、変更してください。

本体キーによる設定

「メニュー」→「サウンド設定」→「ルームサイズ」を選ぶ。

設定項目に「音量微調整」が追加されました

USB 接続時にパソコンのコントロールパネルを使って音量を調整する (USB 経由音量調整)

本機をパソコンに USB 接続しているときに、パソコンの「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」画面でマイク/スピーカーの音量調整やミュート設定ができます。「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」画面を表示する方法については、取扱説明書 21 ページの手順 1～3 をご覧ください。

- ・ **する**：本機をパソコンに USB 接続しているときにコントロールパネルを使ってマイク/スピーカーの音量調整やミュート設定を行います。
- ・ **しない** (初期設定値)：本機をパソコンに USB 接続しているときには常に一定の音量で音声が入出力されます。本機の表示画面に状態を示すアイコンが表示されます。

マイクの音量を微調整する (マイク)

本機のマイクの取音レベルを微調整できます。

可変範囲：－ 12.0dB ～ 12.0dB (0.5dB ステップ)
初期設定値：0dB

オーディオ入力の音量を微調整する (オーディオ入力)

AUDIO IN 端子から入力される音量を微調整できます。

可変範囲：－ 12.0dB ～ 12.0dB (0.5dB ステップ)
初期設定値：0dB

オーディオ出力の音量を微調整する (オーディオ出力)

AUDIO OUT 端子から出力される音量を微調整できます。

可変範囲：－ 12.0dB ～ 12.0dB (0.5dB ステップ)
初期設定値：0dB

本体キーによる設定

「メニュー」→「サウンド設定」→「音量微調整」を選ぶ。

ご注意

- ・ これらの音量の微調整は▲または▼キーで行います。
- ・ パソコンのコントロールパネルを使って音量を調整した後で本体キーを使って音量を調整する場合は、2 秒以上待ってから操作してください。
- ・ 利用環境によっては、これらの音量の設定を変更することで音が歪む原因となることがあります。その場合は歪みがなくなるまで各音量の設定値を下げてください。

言語設定メニューが追加されました

メニュー言語を英語表示することができるようになりました。

メニュー言語を切り替える (言語)

- ・ **英語**：メニュー言語を英語で表示するときに、この設定を選びます。
- ・ **日本語** (初期設定値)：メニュー言語を日本語で設定するときに、この設定を選びます。

本体キーによる設定

「メニュー」→「環境設定」→「言語」を選ぶ。